特別支援教育の担当者実践交流サークル

第２水曜日19：00～20：30　参加費は無料です。

会場はサポートハウス「わにの家」　第２ハウス（武蔵小杉駅下車 徒歩１０分）です

○　３月・４月はお休みです。

○　２０２３年度は５月１０日再開予定です。

◇２月報告◇

☆校内研究授業の報告を聞きました。実践は通常級担任からでしたが、単元の組み立てや誰もが活躍できる授業設定に支援級担任だったときの経験がとても役に立ったという事です。

☆折に触れて話題にしてきた、通常級で何かにつけて暴発しがちなお子さんのうれしい成長の報告もありました。学年集団で取り組んだ音楽発表の指揮者に選ばれたことをきっかけに、周囲の期待を感じて暴発しそうな自分に気づく事が出来るようになり、カームダウンの方法を獲得してマックスになる場面が減ったそうです。

☆小学校から中学校への引き継ぎの事も話題になりました。小学校と同じように通常級との交流を期待する保護者の方も多いようですが、事前に体験してもらったり、中学校生活の目的や交流に期待することなどを本人や保護者と話し合い、入学後に齟齬（そご）が生じないようにしているそうです。

☆一年を振り返ってみると、１０回の短時間の実践交流会の中で解決できたことは少ないと思いますが、経験交流や話し合いを重ねて明るい見通しを持ってもらえることが出来て嬉しいです。

☆この実践交流サークルは、また５月から新しいスタートを切ることになりますが、教育の現場は過大化する支援学級、不足する教員数、新しい教師集団作り、保護者との連携等課題山積だと思います。“悩みに突き当たったら一人で悩まず、まず話してみよう”このサークル会もそんな場の一つとして活用してください。新しい出会いを待っています。

月刊「みんなのねがい」　3月号（715円　送料79円）

特集＝放課後活動で大切にしたいこと

・放課後のいま　～ゆうやけの子どもたち
　／村岡真治（東京・ゆうやけ子どもクラブ）

・いよいよ卒業！ 放課後デイに支えられた８年間

・夢くんは“甘えつつ”リーダーになっていく

・安心できる「場所」「人」「仲間」づくりの大切さ／田場力男（沖縄・こどもの城ひだまり）

・仲間と過ごすこと、自分らしさを形づくること

発達のなかの煌（きら）めき

第Ｉ部　障害のある子ども・なかまの発達

第12回　「社会」のなかで自分をつくる
　／白石正久　白石恵理子

仲間と親とあゆみ続けて
－32年間の障害者福祉実践

第12回　今、改めて、平和を考える
／佐藤さと子（ゆたか希望の家　相談支援事業所）

基礎から学ぶ　障害と医療

第３回　統合失調症とうつ病について
精神障碍③／野末浩之
（横浜勤労者福祉協会うしおだ診療所・精神科医）

クローズアップ

障害者権利条約～総括所見を読み解く

・そもそも障害者権利条約とは？
／佐野竜平（法政大学）

・権利としての障害児教育を実現していくために求められることとは
／越野和之（全障研委員長）・編集部一対談

※　購読ご希望の方はわになろう会　伊藤まで

年度末を迎え、一年間をふりかえり、新たな、たしかな、一歩を！

日々の生活に追われているとお子さん達の変化や成長の姿を見逃してしまいがち。でも、この一年とか小学校の六年間、中学・高校の三年間など長いスパンで振り返ると身体の成長はもちろんのことさまざまな面でどのお子さんにも変化が見られます。そんな変化心身の成長をお子さんと一緒に確かめ、喜び合えるといいですね。

そして、節目の四月に新しい目標を見つけられるともっといいですね。

高等部を卒業されるみなさま

川崎市外の学校へ進学される方も
引き続き会報を希望される方は、ぜひぜひ
「わになろう会」に ご入会 ください。

（年会費：2,000円）
（入会金：　500円）

※　**入会申込書**は会のホームページ、または
わになろう会からお送りしますので、
お問い合わせください。